

亞細亞局

第一課

昭和四年一月拾八日接受

公第一三號

昭和四年一月九日

在支那

臨時代理公使 堀

義



別紙添附

外務大臣男爵 田中 義一 殿

東三省易幟問題等ニ關スル張繼ノ演說  
報告ノ件

北平政治分會主席張繼ハ本月七日同會紀念週ニ於テ東三省易幟問題  
編遣會議等ニ關シ講演シタル趣ニテ右講演ハ八日ノ各支那紙ニ掲載  
セラレタルカ其ノ中日本ニ關係アル事項トシテ  
一、東三省當局ハ今回突如吾黨ノ主義感化ニ依リ易幟ヲ實行シ三民主

在支那日本公使館

S

161533

117

義ニ服從セルカ是ニ依テ見レハ東三省人民カ元來易幟ヲ欲セサリ  
シニ非スシテ實際ハ日本軍閥カ東三省ニ對シ莫大ノ野心ヲ抱懷シ  
東三省ト吾黨ノ合作ハ日本ニ不利ナルヘキヲ虞レ之ヲ阻止シ居リ  
タルモノナルコトヲ知ル

一、東三省ハ今回易幟セリト雖同地ハ積年日本ノ侵略ヲ受ケ一切ノ交  
通金融商業ノ各機關ハ多ク日本ノ掌握スル所ナリサレハ吾人ハ同  
地同胞ニ對シ十二分ノ同情ト援助ヲ與フヘキナリ曩ニ張作霖ハ其  
ノ人格國人ノ久シク唾棄スル處ナリシモ遂ニ東三省ヲ擧ケテ賣ル  
ヲ肯セサリシ故ヲ以テ日本ノ爲燄彈ヲ投セラレ死亡セリ張ノ一生  
ニ亘ル親日モ遂ニ日本ノ歡心ヲ得ル能ハサリシナリ其ノ張ニ及ハ  
サル者ニシテ恐怖ノ爲敢テ日本ト親シマサルハ當然ナリ  
二、支那ノ如キ大國ヲ治メムトスルニハ總理ノ均權主義ニ依ルヲ要ス  
即中央政府ト地方政府ノ權限ヲ明ニ區劃スルモノニテ彼ノ中央集  
權制ハ小國ニ適スルモ大國ニハ不適當ナリ從前日本ハ維新以來數  
十年國政發展シ且隣國ナレハ日本ノ制度ニ倣ハハ必ス強國タルヲ

在支那日本公使館

S

161533

118

得ヘシトノ論ヲ爲スモノ多ク中央集權ニ依リ統一ヲ計ラムト企圖  
セルモ其ノ結果ハ豫期ニ反セリ余ハ分治合作ニ依リ統一スヘシト  
ナスモノナリ  
ト述ヘ居レリ委細別添原文ニテ御承知有度右何等御参考迄報告ス  
本信寫送附先 奉 天 上 海

在支那日本公使館

S

161533

119

REEL No. A-0783

0565

アジア歴史資料センター

今日既造成統一之新局面，再人應如何服從總理之主張，努力建設，以發總理之志，在鄙人以為凡治大國者須有治大國之志，不能專用治小國之策，如西方各國，若英、若法、若德、若俄、若蘇俄，若各國之治，皆以治中而治大，治小之治，皆以治大而治小，治大之治，皆以治中而治大，治小之治，皆以治大而治小。

此外則為社會組織問題，即在現在之中，對於社會問題，即無所謂社會問題，而所謂社會問題，即社會之組織問題。

件名

切聞名拔

大正 年 年 月 月 日 日 發行

### 張作霖尚為日本炸死 他人何敢再親日

#### 張作霖對各問題之演說

中央社訊：北平政治分會昨(廿九)晚在懷仁堂舉行紀念會，到者頗多，各派領袖三十餘人，會中演說，張作霖之名，亦在演說中，張氏之演說，其要點如下：一、東三省之地位，在吾人眼中，實為中國之生命線，若東三省不保，則中國之生命線亦斷，吾人今日之所以在此紀念，即在於此。二、東三省之歷史，古為燕齊，漢為遼東，唐宋為遼金，元清為遼東，其歷史之悠久，且為中國之文化中心，吾人今日之所以在此紀念，即在於此。三、東三省之現狀，今日之東三省，在吾人眼中，實為中國之生命線，若東三省不保，則中國之生命線亦斷，吾人今日之所以在此紀念，即在於此。

#### 編者應後重安

編者應後重安，其要點如下：一、東三省之地位，在吾人眼中，實為中國之生命線，若東三省不保，則中國之生命線亦斷，吾人今日之所以在此紀念，即在於此。二、東三省之歷史，古為燕齊，漢為遼東，唐宋為遼金，元清為遼東，其歷史之悠久，且為中國之文化中心，吾人今日之所以在此紀念，即在於此。

件名

切聞名拔

大正 年 年 月 月 日 日 發行



更細亞局  
關東高警第四團八號  
昭和四年一月十日

第一課甲

記録付名

てんじく

以

關東應警務局長

昭和四年壹月拾五日 接受



内務	拓殖	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍
閣長	官長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
閣員	官長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
閣員	官長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
閣員	官長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
閣員	官長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長

青天白日旗掲揚ト人心ノ趨向

(分類 5.12-8-2)

南北妥協愈々進歩シ民國十八年一月一日ヲ期シ東三省一齊ニ易職スヘ

ク計畫中ナリト傳ヘラレ居タルカ舊臘十二月二十七日保安總司令部ニ於ケル首腦者會議ニ於テ張學良ハ南方政府ノ通牒ニ基キ年内一民團軍命完成上易職問題ヲ解決スルノ要アルヲ主張シ愈々二十九日午前七時ヲ期シ一齊ニ青天白日旗ヲ掲揚スルコトニ決定シ豫テ奉天被服廠ニ於テ準備中ノ青天白日旗ヲ警察廳ノ手ニ依リテ一般ニ配布スルコトナリ省内各官公衙ニ對シテハ當夜青天白日旗掲揚方ニ關スル密令ヲ發シ且ツ同日ヲ以テ省議會ヲ解散シテ一月一日ヨリ政治ノ組織ヲ改革スヘク密カニ準備ヲ整ヘ居タル模様ナリシカ楊宇霆、袁金鎧等ニ於テハ日本側ノ諒解ナクシテ改旗ヲ斷行スルハ日支ノ感情ヲ阻害スルノ虞アレハ時機尙早シ篤ト日本側ト懇談ノ上充分ナル諒解ヲ遂ケタル後實施スヘシト主張シタルモ大勢既ニ如何トモナス能ハス二十八日奉天省長

S

161533

123

S

161533

122

文選ニ於テハ保安總司令ノ訓令ニ基キ、二十九日ヨリ青天白日旗ヲ掲揚スルコト、各縣党部ハ省党部成立ニ先タチ勝手ニ組織スルコトヲ得ス省党部ハ中央ノ指令ヲ俟ツテ辨理ス、トノ趣旨ヲ城内ニ布告スルニ至リタル爲メ同日午后十時頃早クモ奉天城内ニ於テハ三百餘戸ノ軒頭ニ青天白日滿地紅旗ヲ掲揚スルニ至リ更ニ遼陽、營口、安東、鐵嶺、長春其他各地縣知事道尹等ニ於テハ省長ノ改旗ニ關スル訓令ニ基キ二十八日各官公衙首腦者ヲ召集シテ密議ヲ遂ケ愈々十二月廿九日午前七時ヲ期シ一齊ニ青天白日旗ヲ掲揚スルコトニ決定シ直チニ其ノ旨市内ニ揭示シ一面商務會ヲ通シテ一般周知方ニ努メタル爲メ二十九日午前六時ヨリ全八時ニ至ル間ニ於テ附屬地ヲ除キ奉天ヲ中心ニ東三省各地一齊ニ悉ク青天白日滿地紅旗ヲ掲揚シ完全ニ改旗ヲ實行セリ

S 161533 124

奉天省長公署、交渉署、財政廳、教育廳其他各官公衙ニ於テハ當日ヲ革命紀念日トシテ一般ニ休業シ各々門前ニハ三段ノ松飾ヲ裝設シ午前七時ヲ期シテ掲揚式ヲ舉行シ向ツテ左ニ青天白日旗右ニ青天白日滿地紅旗ヲ交又掲揚シ保安總司令部ニ於テハ別ニ竿頭高ク青天白日旗ヲ掲ケ表面ニハ「東三省党務籌備處」ト記シタル看板ヲ掲クルニ至リ市内ハ武装歩兵一個營約四百名ヲ以テ各連毎ニ青白旗ヲ先頭トシ喇叭ヲ吹奏シテ示威行軍ヲナシ別ニ前夜來多數ノ騎馬憲兵並ニ警察官ヲ各要所ニ配備シ總ヘス市中ヲ遊行巡邏セシメテ一般ノ警戒ニ當ラシムルノ外城内出入者ニ對シテハ悉ク身體檢査ヲ行フ等恰モ戒嚴令下ニ於ケルカ如ク緊張シ反對派ノ策動ヲ嚴重警戒シ居タリ

長春方面ニ於テハ當日午前八時前後ヨリ吉長鎮守使署、吉長道尹公署

S 161533 125

其他主ナル官公衙學校銀行等ニ青天白日旗ト滿地紅旗ヲ交又掲揚シタルカ市民側ニ在リテハ當時未タ青白旗ノ準備整ヒ居ラザリシ爲メ一般ニ掲揚スル能ハス官憲ノ強要ニ依リ當日日夜頃迄テニ城内外ヲ通シニ百餘ノ掲揚者ヲ認メタルカ一月一日頃ヨリ一般ニ掲揚スルニ至レリ而シテ幾キニ易幟運動ヲ爲シタル長春師範學校並ニ長春中學校生徒等ハ我事成レリト氣勢ヲ掲ケ午后二時頃ヨリ師範學校附近ニ約五六十名集合シ豫テ準備シ居タル青天白日旗及滿地紅旗ノ小旗ヲ振り囂シ打倒帝國主義ヲ違呼シツツ市内ヲ示威遊行シテ未掲揚商店ニ對シテ掲揚ヲ促シ且党旗、國旗ノ掲揚意義ニ關スル宣傳「ピラー」ヲ撒布シ午後三時散會セリ

尙同日午前九時張學良張作相萬福麟湯玉麟、翟文選、常蔭槐ノ連名ヲ

以テ支那全國ニ對シ別紙譯文第一號ノ如キ改旗理由ノ通電ヲ發スルト同時ニ第二號譯文ノ如キ東省政府ノ改革ニ依リ共產黨ノ策動ヲ警戒セル訓令ヲ佈告セルカ前記ノ如ク長春師範學校、中學校等ノ生徒等ノ行動アリタルノ外各地共改旗問題ニ關シテハ特ニ民心ニ動搖ヲ生セシメタル事實ヲ認メス

易幟斷行ニ反對セル楊宇霆等ノ態度ハ一種ノ狂言ニアラスヤトノ説アリシモ豫テ内定セル省政府委員ニモ加ヘラレス且今回ノ易幟斷行ニ就テハ殆ト張學良周圍ノ者ニヨリテ決定ヲ見ルニ至リ今ヤ省政府内部ハ大勢上學良系ニ依リテ支配セラルルニ至リタルヲ快ヨシトセス豫テ楊ノ持論ハ容レラレス易幟ヲ斷行セラルルニ至リタルコト等其ノ主ナル原因ヲ爲シ席ヲ蹴テ猛然反對シタルモノナリトノ説有力ナルカ尙官界

S

161533

127

S

161533

126

要人中ニハ時機尙早ノ理由ニ依リ相當反對者アルモノノ如ク又民間ニ  
アリテハ東三省民報社長等中心トナリ南北妥協反對ノ一パンフレット  
ヲ撒布シ或ハ鐵血圖ナルモノヲ組織シテ策動計畫アリタリト傳ヘラレ  
タルモ已テニ易職ヲ斷行セラレタル關係上張學良ニ對スル感情著シク  
惡化シ彼等ノ中ニハ茲數ケ月中ニハ全ク民心離反シテ張學良ノ地位ハ  
龜裂ヲ生スヘント稱シ居ル向キアルモ大勢ハ南北妥協ニ一致シ居レハ  
一部反對ノ策動ハ到底其ノ效ナキモノト稱セラレ居レリ

ハ谷鐵道附屬地ノ情勢

附屬地内各華商等ニ於テハ二十九日改旗實施後初メテ其ノ事實ヲ知リ  
タルモノノ如ク中ニハ支那側ヨリ豫メ何等本件ニ關スル通知ナキヲ不  
可思議ニ考ヘ居タル向アリ一般商民トシテハ此際城内支那側河橋易職

ヲ歡迎シツツアルモ日本行政區内ニ安住セルモノナル關係上強テ支那  
側ト全様ニ青天白日旗ヲ今直チニ掲揚スルノ必要ナシトノ意見ヲ抱ケ  
モノ多ク之ニ對スル極端ナル反對者ナキノミナラス却ツテ青天白日旗  
掲揚ニ反對シ奉天ニ於テハ當日五色旗ト日章旗ヲ交叉掲揚シタル者サ  
ヘアリ僅カニ奉天官島町日支合辦奉天電車公司ニ於テ午前十時頃ヨリ  
支那側官公署同様青天白日旗ト青天白日滿地紅旗ヲ交叉掲揚シタルモ  
市街ノ一方ニ邊シ居レル關係上一般ノ注意ヲ惹クニハ至ラサリシカモ  
十日ニ至リ長春、公主嶺其他附屬地商務會宛支那官憲又ハ支那側商務  
會等ヨリ今回東三省ハ一齊ニ員職發令アリ附屬地華商ニ對シ其旨示達  
ノ上至急改旗掲揚セラレタシトノ通知ニ接シタルモ獨斷決行モ爲ス能  
ハス我官憲ノ意嚮ヲ伺ヒ出ツル向アリシヲ以テ大勢已テニ定マリ居レ

S

161533

129

S

161533

128

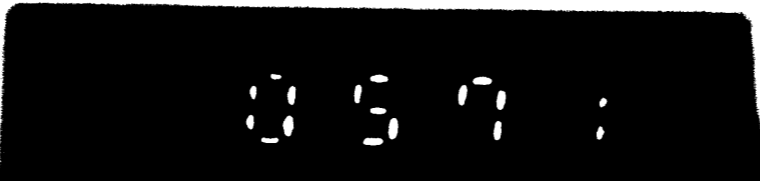
ハ附屬地支那人ノ易職ニ對シテモ干渉セス改旗實行ハ隨意トナシ居タル爲メ商務會ニ於テハ各評議員會等ヲ開催シテ改旗掲揚ノ可否ヲ協議シタル結果各自任意トナスコトニ決定シタルモノノ如キモ各地トモ旗ノ準備整ヒ居ラサル關係上直チニ掲揚スル能ハス三十一日頃ヨリ漸次附屬地一帯ニモ青天白日旗ノ掲揚ヲ見ルニ至レリ

S

161533

130

REEL No. A-0783





一 關東州内ノ情勢

州内支那人側ニ於テハ十二月二十九日新聞紙ノ發表ニ依リテ奉天支那側一齊ニ青天白日旗ヲ掲揚シタルコトヲ知り其ノ眞任ヲ知ルヘク且切迫セル新年ニ掲揚スヘキ國旗ニ就キ華商公議會ニ對シ盛ニ問合セル向アリ又金州・普蘭店等ニ於テハ大連公議會ノ意嚮ヲ照會シ來ル等大連公議會ニ於テハ之カ回答ニ窮シ會長張本政ハ幹部ト相謀リ向日午後一時奉天省長宛其ノ實否ヲ電報ヲ以テ照會スルト共ニ不取敢青天白日旗一對ヲ注交シタルモ遂ニ何等ノ回答ニ接セス殊ニ州内ハ州外ト其ノ趣ヲ異ニセル關係上日本官意ヲ憚リ其ノ去就ニ迷ヘルモノノ如クナリシカ獨リ州内居住者ノミ改旗ヲ躊躇スルハ不合理ナリト稱シ一月元旦ニハ大連華商公議會ヲ始メ中國銀行大連支店・中華青年會・盛和盛銀莊・仁生德雜店・眞昌公司時計店其他二三ノ掲揚者ヲ見タルカ一般ニハ日和見の態度ヲ持シ五色旗モ掲揚セス一種ノ寂涼ヲ感セラレタルカ一般ノ意嚮トシテハ寧ロ青天白日旗掲揚ヲ好メルカ如キ狀況ニアリ

S

161533

131

二 易幟ト人心ノ趨向

南北妥協問題ハ久シキ間奉國當局ノ懸案ニ屬シ居タルカ最近日泰各代表者ノ交換往復ニ依リ既ニ雙方妥協諒解成レリト傳ヘラレ易幟問題ニ就テモ早速實施セララルモノト豫測シ居タルノミナラス中ニハ易幟斷行運動サヘナシタル事實アルヲ以テ今回突如改旗ノ命令ニ接シタリト雖モ別ニ懸與衝ヲ與ヘス隨テ民間ニ於テハ之ニ反對ヲ唱フル者モ認メラレス東三省ノ改旗實施ハ之民國統一ヲ表徴スルモノニシテ久シキニ亘ル戰禍ハ之ニ依リテ一掃サレ多年ノ軍閥橫暴ノ弊ハ之ニ依リテ愈々改リ民權ハ事實上ニ於テ伸張セララルコトトナリ國家ノ大慶國民ノ幸福此上ナシト歡喜シ居レリ  
其他一般商民ニ於テハ何等瀆リタル感想ナク只官命ニ盲從スルノミナルカ有識階級ノ家庭ニアリテハ三民主義ニ關スル著書ヲ購入シテ研究ヲ始メツツアル向モアリ各學校ニ於テハ教科書トシテ三民主義ノ普及ヲ計ルヘク國民政府ヨリ之ニ關スル著書ノ配布ヲ交渉スルコトトナレリト稱シ居レリ

S

161533

132

易幟ト露國側ノ態度

(一) 赤露側 露國ハ最近電話局同收問題ニ依リ對支宣傳運動費ノ根柢トモ稱セラルル東支鐵道ノ利權失墜ノ危機ニ當面セル折柄支那南北妥協ノ表徴タル易幟實施ニ直面シ大ナル衝動ヲ與ヘタルモノノ如ク最近奉天騷擾ヲ蠶策シ奉天當局ノ對外政策遂行不能ニ陥ラシムヘク奉天總領事「グツネツォフ」ハ哈爾濱「ドルコム」附暴動團體トノ間ニ秘密連絡ヲ開始シ既ニ數名ノ支那人共產黨員ヲ奉天ニ派遣潛入セシメタリトノ説アリシカ南北妥協ニ依リ當然對支政策ノ變更ヲモ招來スルニ至ルヘク十二月二十九日寛城子「メストコム」幹部ニ於テハ同俱樂部ニ集合シ對支問題ニ關スル意見交換ヲ行ヒ不取敢長春地方ヲ中心トシテ易幟實施ニ對スル民間ノ意嚮其他一般政情ノ改革等ヲ調査スルコトニ決定セリト云フ

(二) 白露側 支那側ノ易幟斷行ニ關シ白露人トシテハ別ニ衝動ヲ與ヘタル模様ナキモ長春在任露國人代表「ブーキン」ハ二十九日長春城內吉長道尹公署ヲ訪ヒ南北妥協ノ祝辭ヲ述ヘタルカ彼等ハ支那

ハ南北妥協ニ依リテ全國統一サレ其結果對露態度ハ著シク強硬化スルニ至ルヘク支那ノ東鐵回線ノ時機ハ「ソ」露ノ崩壊期ヲ早カラシムルモノナリトテ尠カラス易幟實施ヲ歡迎シ居レリ。

S

161533

134

S

161533

133

第一編 譯文

南京中央党部國民政府主席及各委員、各院長、各部長、各委員會、各政治分會、各省党部、省政府、各總司令總指揮、各司令師長、各法團各報館ニ呈ス

中山先生ノ三民主義ハ癸亥甲子ノ際故大元帥ハ早クヨリ贊助提携セルハ海内共ニ知ル共產党カ陰謀ヲ慾ニシ海内ニ毒ヲ流シテヨリ中露々民党及總理ノ主義ハ亦殆ト之カ爲ニ彰カナラス故大元帥討赤ノ軍ヲ起シ始メニ中山先生ト提携ノ歴史ヲ述ヘ其ノ趣旨ハ專ラ反共產ニ注キ素ヨリ贖武（武ヲケカス）ノ意思ナシ

五月九日ニハ亦停戰ノ通電ヲ發シ死ニ臨ミテハ平和ヲ主張シ統一ノ促成ヲ畫言ス其ノ苦慮ノ程益々昭カナリ現在政府ノ諸公ハ共產主義ニ反

對シ共產党ヲ撲滅シタルハ右ノ趣旨ト相同シク彼我ノ使者往來シ益々明瞭トナリ茲ニ故大元帥ノ遺志ヲ繼キ統一ヲ謀リ平和ヲ貫徹シタルモノナリ依テ即日三民主義ヲ遵守シ國民政府ニ服從シ改旗ヲ宣言ス伏テ祈ル諸公遠キニアルモ時々明教ヲ賜ラン事ヲ切望ス

張學良、張作相、萬福麟  
湯玉麟、崔文選、常蔭槐

二十九日

謹白

S

161533

136

S

161533

135

第二號 譯文

奉天省長公署布告

爲メニ布告スルコト本署ノ接シタル東三省保安總司令ノ諭電ニ云ハク  
本部ニハ今回既ニ東三省党務籌備處ヨリ中央ト接洽(打合セ)シテ三  
省指導委員會ノ人員ヲ正式ニ委任シテ党部ノ成立ヲ宣布シタル上次第  
ニ成立セシムルコトスヘク而シテ此間ノ順序ニ於テ毫モ紊亂ヲ容レ  
シメス凡ソ籌備處ト接洽妥協シタル正式ノ通知ナキモノハ何人ヲ論セ  
ス及ヒ如何ナル名義ヲ假用シ私ニ組党スルヲ論セス  
此等ハ嚴重ニ禁止シ以テ共產党ノ機ニ乘シテ之ヲ利用センコトヲ免ル  
ルコトトスヘク此旨直ニ所屬一體ニ電命シテ遵奉セシメラレタシ云々  
トノコト依テ所屬ニ對シテハ既ニ各電命シタル外茲ニ合セテ布告ヲ行

S

161533

137

フニ付一體ニ之ヲ知悉スヘシ

中華民國十七年十二月二十九日

奉天省長

翟文選

選

「以上」

S

161533

138

夏細亞局  
機密第三三號

昭和四年一月十一日

在聞島

總領事代理市川信也

外務大臣男爵田中義一殿

送達記録

7

7

139

記録付名

昭和四年一月七日接受

153

(分類 A.6.1.5.122-7-3)

支那官民ノ易幟祝賀狀況等ニ關スル件

客年十二月二十九日易幟實施方吉林省長ヨリノ訓電ニ依リ間諺地方一般ニ青天白日旗ノ掲揚ヲ見タルノ相前後ニテ行ハレタル各地祝賀概況並支那人ノ感想等左記ノ通りニシテ延邊商農工學公民聯合會幹部及各縣教育關係職員其ノ他青年學生等ニ在リテハ理想國家ノ

肇基成レリトシテ歡喜シ國權ノ回收ヲ叫ヒテ一部間ニ兎角日支關係ニ逆宣傳ヲ試ミムトスル傾向アリ注意視察中ナリ

記

一易幟祝賀ノ狀況

(一)龍井村

一月一日午後二時ヨリ公民聯合會ノ主催ニ依リ官民合同ヲ以テ市内民聲報社内ニテ南北統一記念祝賀會ヲ開催シタルカ祝宴後ニ於ケル決議事項ノ主ナルモノ左ノ如シ

(1)集會人員

民聲報係社長以下官民有志約二十名

(2)決議事項

S

161533

140

S

161533

(一) 一月二十日前後、於テ行ハルヘキ政治組織改変ト同時ニ大規模ニ各種示威運動ヲ断行スルコト

(二) 速ニ延辺外交委員會ヲ組織シ公民聯合會ト策應シテ國民政府要路者ヲ促シ滿洲ニ於ケル各種利權回收問題ヲ解決セシムルコト

(三) 延邊ニ臨時行政委員會組織方吉林省當局ニ提議シ一方南京派遣代表ニ通電スルコト

(四) 歸化セサル朝鮮人ハ政治運動ニ参加ヲ許サス又國民黨入党ヲモ許容セサルコト

(五) 治外法權撤廢ノ実行ニ努力スルコト

(六) 民聲報ハ延辺道特別區編成ト同時ニ國民黨直接ノ機關紙トナスコト

(二) 於テ街

一月一日午後六時ヨリ官民合同ノ南北統一慶賀提灯行列ヲ行ヒ更ニ同七時ヨリ素人演劇ヲ舉行シタルカ入場者約二千名ニシテ盛況ヲ極メタリ

續イテ翌二日午後二時ヨリ公民會幹部會議ヲ開催セリ其ノ決議事項左ノ如キモノアリ

(一) 延辺商工農學聯合公民會員ヲ國民黨員ニ編入シ各縣ニ國民黨々務指導部ヲ設立スルコト

(二) 黨員名簿ヲ吉林省党務部ヲ經テ中央党部ニ送付スルコト

(三) 延辺公民會ハ目下南京派遣ノ代表ニ對シ延辺地方党務指導部組織ニ關シ中央党部及吉林省党部ノ聯絡打合方一切委任スルコト

(四) 反日會ノ組織ヲ完成スルコト

S

161533

142

S

161533

141

(四) 將來市内通俗講演所ハ専ラ三民主義宣傳所ニ充當シ縣當部設立ト同時ニ政治組織改革ニ關スル講習所ヲ各縣ニ設立スルコト  
(五) 延邊黨務部ニ民族部ヲ附設シ在往鮮人ヲ指導スルコト

(三) 和龍縣城(天拉子)

和龍縣知事劉祖蔭以下官民合同ノ慶祝會開催前後ノ経緯左ノ如キモノアリ

劉知事ハ南北統一テフ最モ慶賀スヘキ祝宴ニ付日本側ヲ招待シテ有意義ナラシムヘシトノ意見ニ對シ縣教育局長代理朱殿文外數名ノ職員等ハ本祝賀ノ如キハ東三省統一ニ反對態度ニ在ル日本側ヲ招待スルハ全ク無意味ニシテ寧ろ此ノ記念日ヲトシテ

排日運動ヲ敢行シ其ノ意義ヲ宣傳スヘキモノナリト兩者ノ意見一致セサリシモ教育局側ノ意見ヲ容レ祝賀會ヲ開催シタル宴翌二日ニ至リ教育局長代理以下關係局員四名ハ劉知事ノ親日態度ニ憤慨シ連署ヲ以テ辭表ヲ提出スル等易幟實施ニ當リ各地共ニ教育關係者ヲ中心トシテ穩健(親日派)排斥運動露骨トナリ向後ノ趨勢ニ就テハ相當注意ヲ要スヘキモノアリ

(四) 琿春||頭道溝||百草溝||其他

汪清縣城在住支那人間ニ在リテハ南北統一記念トシテ活動寫真撮其ノ他敵械ノ購入計画ヲ為シツ、アリ其ノ他ノ地方一般支那人間ニハ祝賀ノ意味ニテ軒燈ヲ掲ケ或ハ三民主義光華萬歲青天白日旗如山河

S 161533

S 161533

等ノ字句ヲ大書セル各種ノ旗幟ヲ樹テ寄々小宴ヲ催  
シタリシモ未タ具体的排日運動ノ舉ニ出テタルモノナ  
ク概シテ平穩裡ニ經過シツ、アリ

## ニ支那人ノ感想

### (一) 支那人側

(4) 労働者階級ニ在リテハ敢テ是非ノ感想ヲ抱カサルモ  
青年學生、學校教職員其、他新思想青年官吏  
等ニ於テハ革命政府ノ樹立ヲ恰ニ一大理想團出現  
ノ如ク隨喜シ之ニ依ツテ日本帝國主義ヲ打倒シ從  
來ノ侵略ヨリ脱離シ得ヘシト信シ一部思想的鮮  
人等ノ煽動シ暗ニ排日氣勢ヲ擧ケ日支ノ難關策  
ニ備ヘントスルノ傾向アリ

(4) 有識階級者及相当永キニ亘リ官吏、職ニアル者等ニ

アリテハ革命政治ノ反動的変革或ハ自己ノ解職等  
ヲ顧慮シ却ツテ内心不安ニ耽ラレアルモノノ如シ

### (二) 朝鮮人側

(4) 一般下級無識階級者ニ在リテハ易幟モ尙分ノ勢ニ  
シテ永續スルコトナカルヘク東三省ハ依然トシテ獨  
立政治ノ下ニ從前通りノ形式ニ依リテ統治セララルヘ  
キニ依テ支那側ニ對シテハ只迎合的面従ノ態度ヲ採  
ルコト得業ナトテ何等關心セサルモノ多シ又一方多少  
有識階級者間ニ在リテハ易幟ハ即チ支那南北統  
一ノ事實ノ表現ニシテ新政府ノ奉スル三民主義ニ  
拠リ支那側從來ノ横暴压迫ヲ幾分ナリトモ緩和  
セララルヘク從ツテ在住鮮人ノ享樂スル幸福モ増大セ  
ラルヘシトテ新タナル希望ト興味ヲ以テ之ヲ迎ヘアル

S

161533

146

S

161533

145



者アリ

(ロ) 思想団体側及排日的分子等ハ三民主義ヲ奉スル  
新民國々家ノ確立ニ依リ日本ノ侵略主義ヲ打倒シ  
不平等條約ヲ撤消シ自由平等ナル理想的國家  
建設ノ秋到來セリトナシ此ノ機會ト趨勢ヲ利用シ特  
ニ支那側ニ迎合シテ蠢動セントスルカ如キ狀況ヲ窺ハル  
ルモノナリ

(ハ) 又一部親日派有識鮮人ニシテ多少輿論等、空氣ニ觸レ  
居ル者ノ間ニ於テハ滿蒙地方ニ特殊ノ關係ヲ有スル日  
本カ此ノ新政府主義ノ態度施設等、依リ不利ナル立  
場ニ置カレツ、アルコトニ想到シ此ノ難局ニ當リテ日本  
政府カ如何ナル態度ニ出テ、之ヲ處理スルカラ非常ナ  
ル期待ノ下ニ望觀スル者亦尠カラス

本信寫送付先

北京公使 奉天 哈爾濱 吉林各總領事  
長春 安東 鉄嶺各領事 通化分館主任  
朝鮮總督 咸南 咸北 平北各知事  
朝鮮軍參謀長 第十九師團參謀長  
羅南憲兵隊長 間島派遣員  
管内各分館主任各署長分署長

S

161533

148

S

161533

147

46.5.12-82

秘

新聞情報第二號  
東三省貿易問題

昭和四年一月

情報部

記録名

46.5.12-82

S

161533

149

印

REEL No. A-0783

058

アジア歴史資料センター

東三省易幟問題（秘）

東三省ノ青天白日旗掲揚ハ本年一月一日ヨリ之ヲ實行スルコトニ内定シ居タル模様ナリシカ出先官憲ニ於テハ容年十二月二十九日ヨリ之カ掲揚ヲ決行スルヤノ問込ヲ得タルニヨリ奉天當局ニ對シ右事實ノ有無ヲ確メタル處同當局ハ何等明答スル處ナク二十九日ニ至リ突如易幟ヲ決行スルニ至リタルモノナリ支那側ハ別段我方ヲ度外視スル意思ハ毛頭無カリシ旨辯論スル處アリタルカ國民政府側ヨリ民國十七年甲ニ全國統一ノ形式ヲ取り度シトノ要求ニ基キ易幟ヲ決行スルニ當リ豫メ我方ニ通告スルコトニ依リ我方ノ干渉ヲ恐レタルモノノ如ク觀測セラル

尙本件ニ關スル内外新聞論調左ノ如シ

1

161533

150

S

帝國

昭和三年十二月二十九日ノ各新聞紙ハ二十八日發奉天特電並ニ聯合電報トシテ豫テヨリ問題トナリ居タル東三省ノ青天白日旗カ十二月二十九日ヨリ悉々掲揚セラルルコトニ決定セル旨ヲ報シタルカ翌三十日ノ各紙ハ悉々見出シテ二十九日午前七時ニ至リ奉天當局ノ命ニ依リ青天白日旗ハ一齊ニ奉天城内外ニ掲揚セラルルニ至レル旨並ニ之ニ對シ同地ニ於ケル官民一般ニ意外キ落着キ振リヲ見セ居ル旨ヲ傳フルト共ニ右易幟ハ日本側ニ對シ何等ノ通知モナク突然決行セラレタルモ日本側ハ之ニ對シ今更干渉カマシキ態度ニ出テス冷靜ニ成行ヲ傍觀スルナラントノ概測行ハレ居レル旨ヲ報シ更ニ長春、哈爾濱、鐵嶺、安東、間島等ノ特派員發電、聯合、電通等ノ特電トシ

2

161533

151

S

テ以上各地ニ於ケル易轍ノ模様ヲ報シタルカ本年ニ入リテハ近ク帝國議會ノ開會ヲ控ヘ内政諸問題編奏シ來リタルト共ニ米議會ニ於ケル不戰條約討論ノ模様、東支鐵道ノ日本へ賣込交渉説、漢口ニ於ケル排日運動、魏字露、常陸棉殺害事件等ノ諸問題相次キテ起リタル爲世間ノ注意ハ此等諸事件ニ轉セラレ其後易轍問題ノ情報ヲ傳フルモノナク僅カニ三日ノ東京朝日カ青天白日旗ヲ掲ケタル奉天財政廳及四平街ノ寫眞ヲ掲載シタル外五日ノ東京朝日、同日日等數紙カ四日ノ國議ニ於ケル首相ノ報告トシテ今回ノ易轍ニ因リテ直ニ東三省ノ政治組織ニ急激ナル變革ヲ來スモノニ非サルヘキヲ以テ今後ニ於ケル事態ノ推移ヲ靜觀スヘントノ趣旨ヲ傳ヘタルカ此ノ外政黨方面ノ意向トシテハ特ニ報スル處ナク只民政黨ニ於テ本件カ對支外交方

S

161533

152

針ノ根本的蹉跌ナリトシ相當重視シ居ル旨ヲ報シタルニ止マル尙本件ニ關シ社説ヲ以テ論評セル本邦新聞トシテハ今日迄ニハ中外商業一紙ニ止マル其ノ論旨大要次ノ如シ

中外商業(一月九日) 東三省ノ改旗實行ハ我對滿政策カ假令形ノ上ニ於テハ如何ニアレハトテ實質的ニハ全然一蹴セラレタルコトヲ意味スルモノナリ其ノ結果カ當面直接ニ現ハレストスルモ事態ハ甚々重大ナルヲ思ハシム故ニ當局ハ須ラク眞ニ根本ヨリ從來ノ政策ヲ改ムルカ然ラサレハ是迄ノ方針ヲ一貫セシムル爲十分ニ善後ノ措置ヲ講セサルヘカラス

英國

S

161533

153

一、電報及通信

三十一日ノ諸新聞ハ支那各地及東京特電又ハ「ルーター」通信トシテ東三省ノ易幟ヲ報シ右ハ假令南方ニ對スル形式的ノ歸順ナルニセヨ一面日本ニ對スル獨立ノ宣示ナルコト、之ニ對シ日本ハ其ノ權益カ侵略セラレサル限り何等ノ行動ニ出テサルヘシトノ觀測並ニ王正廷カ滿洲ノ歸順ハ外國ノ交渉ナカリセハ更ニ早ク實現セラレシナラント語レルコト等掲載セラル

二、新聞論評

「マンチエスター・ガーディアン」(自由黨系、對日態度良好ナラス) 滿洲カ青天白日旗ヲ掲ケタルハ實際上南京ニ服從シタルモノニ非サルヘク又日本政府カ滿洲ノ南京歸順ヲ容認スヘシ

S

161533

トハ思ハレサルモ斯クノ如キ單ナル「ゼスチユア」ヨリ來ル結果ヲ重大視セサルヘシ然レトモ右ハ從來嘗テナキ日本ニ對スル獨立ノ表示ニシテ事態ノ實質的變化ヲ示スモノナリ而モ日本ノ重要視スル特殊權益カ存在スルコトハ事實ナレハ支那政府及地方權力者カ之カ保護ヲ約シ且其ノ履行ノ實力ヲ有スル場合ニ於テノミ時局モ始メテ禍ナキヲ待ヘシ

米國

一、電報及通信

各新聞ハ支那其他各方面ノ電報トシテ東三省易幟ノ經緯並ニ日本ハ之ヲ阻止スルノ行動ニ出テサルヘキ模様アリトノ旨ヲ報シ

S

161533

居レリ

二、新聞論評

華府「ボースト」(共和黨系)同「スター」(現政府御用紙ノ傾向)、紐育「ヘラルド・トリビューン」(共和黨系)、「パルチモア・サン」(民主黨系)、費府「レコード」(民主黨系)及同「インクアイラー」(共和黨系)等カ社説ヲ掲ケ「支那ノ統一カ斯クシテ漸次其ノ緒ニ就キツツアルコトヲ祝福スルト共ニ右統一カ未タ皮相ノ域ヲ脱セシテ内部ニ幾多ノ難關存スルヲ指摘セルカ尙本件ニ對スル日本ノ態度ニ關シ紐育「ヘラルド・トリビューン」及費府「インクアイラー」ハ日本モ遠カラズ支那ノ新事態ヲ認メ他ノ諸國ト同様對支新條約關係ニ入ルナラ

S

161533

156

ント云ヒ又「バルチモア・サン」ハ日本ノ如ク強大ナル隣邦カ近來安協的態度ニ出テ來レルハ支那ノ前途ニ對スル希望ヲ深カラシムヘシト述ヘ居レリ

支那

新聞論評

奉天臨時報(排日的)十二月二十九日ハ東三省カ國民政府ニ併合セラレタルハ國內和平統一ニ一層ノ力ヲ添ヘタルモノニシテ今日外交ノ問題トモナラス青天白日旗ヲ掲揚スルニ至レルハ感激ニ堪ヘサル處ナリ殊ニ青天白日旗ノ掲揚ハ三民五權主義ノ道守ヲ示シ三民主義ハ民生問題ヲ尊重スルモノナルヲ以テ當局ハ

S

161533

157

國際問題ノ一タル東支問題ニ關シ張行政長官ハ蘇支兩國間協約ノ嚴正ヲ指摘セルモ事實ニ於テハ兩國ノ完全ナル相互主義ハ兎角保持セラレヌ南北合同シ又青天白日旗ノ掲揚ヲ見タル今日支那力隱忍的態度ヲ持續シ得サルハ歴史ニ徴スルモ明カナリト述ヘ支那側ノ對東支策力將來硬化スヘキヲ諷シ居レリ

S 161533

此ノ點ニ意ヲ加ヘタルモノナルヘシト論シ  
 哈爾濱「モルワ」(赤系)十二月三十日ハ東三省ノ易轍ハ豫テ奉、國間ニ善カレタル筋書ニシテ今回之ヲ表現セルニ過キス事實上政治的又ハ社會的ニ左迄重大ナル意義ヲ有スルモノニ非ス然レトモ此ノ結果蘇聯邦ニ對スル東三省ノ政策モ南京政府ノ方針ニ出ツヘキハ否ム能ハス而シテ同政府カ蘇支關係ヲ蘇支協約ニ依リテ調節スヘキヤ又ハ依然從來ノ如キ不定ナル政策ヲ持續スヘキヤ不明ナルカ後者ハ徒ニ兩國關係殊ニ東支問題ヲ紛糾セシムヘキノミナルニ鑑ミ同政府力之ヲ避クヘキハ吾人ノ信シテ疑ハサル所ナリト論シ

露文公報(支那側露字機關紙、白系)十二月三十日ハ複雑ナル

S 161533



28

19

重細証

密第九五號

昭和四年二月七日

第二課

三浦

別紙添付

昭和四年四月拾四日

在哈爾賓

總領事

八

木

元

八

外務大臣男爵田中義一殿

件名

東三省易職力任滿鮮人ニ及ホシタル影響ニ關スル件

本件ニ關スル 二月 六 日附

在奉天林總領事

宛

抽信機密第一七

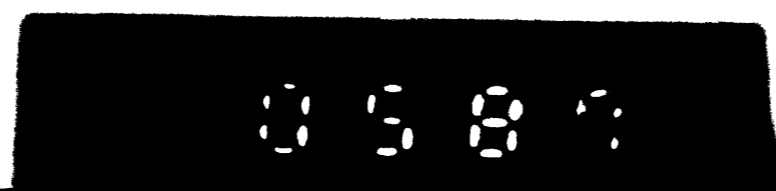
號寫何等御參考迄茲ニ送付ス

612A.015

S

161533

160





寫

公領機密第一七號

昭和四年二月六日

在 哈 爾 濱

總領事 八 木 元 八

在 奉 天

總領事 林 久 浩 郎 殿

東三省易戰カ在滿鮮人ニ及ホシタル影響ニ  
關スル件

客月十日附合機密領第八號宣傳部照會ニ係ル首題ノ件左記同報ス  
ニ易戰ニ對スル在滿鮮人ノ感想

BI

S

161533

161

BII

當地方ニ於ケル朝鮮人有職階級ニ於テハ反日本色彩ヲ帶フル國民

政府カ日本ヲ背棄トスル奉天軍閥ヲ屈服統一シタル結果ハ日本ニ

對シ好感ヲ有セサル在滿朝鮮人心埋ヲ利用シ必スマ朝鮮人讓柔ノ

方針ヲ執ルニ至ルヘク而カモ國民政府内ニハ廣東國民武官學校ヲ

卒業セル反日朝鮮人二百名以上在任シ居ルニ付是等同胞ノ介在カ

連絡トナリ我カ朝鮮人ノ在滿ニ於ケル發展ハ前途ニ光明ヲ認ムル

ニ至レリト喜ヒ居レリ又朝鮮人無職階級ニ於テハ南北統一ノ結果

ハ戰亂終息シ生活ノ脅威薄ラタヘキニ至ルヘント極メテ淡キ喜ヒ

ノ中ニ將來フトシ居ルモノノ知シ

ニ易戰後ニ於ケル支那側ノ鮮人ニ對スル態度

易戰日淺キヲ以テ朝鮮人ニ對スル取扱振リニ付特ニ顯著ナル變化

S

161533

162

ノ總ムルモノモキモ東支線種地地方ニ於テハ從來歸化鮮人カ土地  
ヲ買收登記スルニ當リ繁雜ナル手續ト相當ノ日數ヲ費シタリシニ  
最近頗ル簡便ニ簡カモ短日ニ手續ヲ完了セラルルコトナレリト  
ノ情報アリ又當地ニ於テ支那官憲ト交際ヲ有スル鮮人有力者ヨリ  
採知スル處ニ依レハ最近國民政府ヨリ支那地方官ニ對シ今後與地  
ニ往來スル日本人ニ對シテハ嚴重ニ之ヲ監視セヨ但シ韓僑（在滿  
鮮人）ハ之ト同一ノ取締ヲ爲スニ及ハストノ訓令ヲ發シタル趣キ  
ナルカ其趣旨カ那邊ニアルマ又前述ノ具體的事實カ果シテ易戰ニ  
依ル發露ナルマハ漸次時日ノ經過ニ依リ判明スヘキモ不取敢御參  
考迄通報ス

易戰後ニ於ケル不逞鮮人ノ動靜

B11

S 161533 163

本件ニ關シ未タ具體的事實ノ認めヘキモノモ共産主義的の色彩  
ヲ有スル思想團體ニ於テハ其主義目的カ國民政府ノ三民主義ト共  
通ノ點アル以上易戰ノ結果ハ並ニ有力ナル背景ヲ得ルコトナリ  
目的ノ達成ニ多大ノ便宜ヲ得ルニ至レリト期待シ居ルモノノ如ク  
又朝鮮獨立ヲ標榜スル武力團體ニ於テハ文化政治ヲ信條トスル國  
民政府カ奉天軍閥ヲ屈服統一シタル以上從來武力的行動ヲ執リ居  
タル不逞團ハ自然彈壓ノ手ヲ下サルルニ至ルヘシト前者トハ反對  
ニ頗ル畏慮ノ由アリ

以上

本信寫送附先

外務大臣 在支公使 朝鮮總督府內務局長

B11

S 161533 164

郵政局

公第一九二號

昭和四年三月一日

在支那

臨時代理公使

堀

義



別紙添附

外務大臣男爵 田中義一殿

奉天側非公式聲明新聞記事送附ノ件

往電第二〇九號ニ關シ奉天側非公式聲明書新聞記事切抜別添ノ通何等御参考迄送附ス

本信寫送附先 上海 奉天 南京

在支那日本公使館

記録件名

昭和四年三月一日

先示印

(分類) A6.1.5.1-2-2-2

S

161533

165

件 名

新聞名 The North China Standard

# MANCHURIA POSITION DEFENDED

## Mukden Explains Why It Has Different Treatment To Provinces

### DOUBLY EXPOSED

#### North Country Awaits With Keen Interest Kuomintang Meeting In March

MUKDEN, Feb. 24.—The following semi-official statement regarding the political status of Manchuria and its relation to the Nanking Government has been issued here.

"The Three Eastern Provinces have always formed a political unit. During the Manchurian period they were, like other parts of China, governed by a so-called viceroy. This office survived during the first years of the Republic under the name of Governor-General. The late Marshal Chang Tso-lin was the last holder of this title but when he declared his independence from the Peking government he appointed himself 'protector of the peace' of the Three Eastern Provinces. During his long rule of Manchuria, the unity of the three provinces was made stronger and more complete than that between any other parts of China. After his death last year, the office of 'protector of the peace' was, by election of the provincial assemblies, conferred on his son, Chang Hsiao-liang.

At that time the special administrative district of Jehol joined the Manchurian provinces, thus forming a federation of four north-eastern provinces. Up to the end of last year this federation acted as an independent state, both in its dealings with foreign powers and with the Nanking government.

**Office Abolished**  
"When, on December 30 last year, Marshal Chang Hsiao-liang

announced his intention to recognise the authority of the Nanking government over Manchuria and to introduce here its system of Government the office of protector of the peace was automatically abolished. The administrative organs of the Nanking government, are, as is well known, an elaborate system of assemblies, committees and councils, and these had now to be organised in Manchuria. Provincial political councils were established in the four provinces with the former governors as chairmen, but having also a superior organ named the North-eastern Political Council with Chang Hsiao-liang as chairman. Before all these organs could begin to function, however, their personnel had to be appointed by the Nanking Government.

#### Named Commander Too

At the beginning of this month (February) the Nanking government also appointed Marshal Chang Hsiao-liang commander-in-chief of the north-eastern frontier army with Generals Chang Tso-hsiang and Wan Fu-lin as vice-commanders, and the former governors in the four provinces as chairmen of the provincial political councils. No appointments were, however, given to the members of the north-eastern political council. This fact has given rise to many misleading reports in the Press, hinting that the political

unity of Manchuria has come, and that Marshal Chang has no administrative power whatever. The following facts must, however, be remembered:

#### Chang Recommends

"1. By agreement between Nanking and Mukden all appointments of higher officials in Manchuria are made by the Nanking Government on the recommendation of the commander-in-chief of the North-eastern army only.

"2. Though not officially appointed by the Nanking Government the north-eastern political council functions as the intermediary organ between Nanking and the four north-eastern provinces in all official communications.

"In fact, if not in name, Marshal Chang Hsiao-liang thus retains exactly the same administrative power that he used to have before the reorganisation of the government.

#### Why Nanking Reluctant

"The apparent reluctance of the Nanking government to recognise Manchuria as a political unit requires some explanation. In the first place, this reluctance is based on one of Dr. Sun Yat-sen's principles, namely, that all the provinces of China should be directly subordinate to the Central government. However federations between two or more provinces exist in several other places in China, and are sometimes recognised by the Central government. There is thus one branch political council in Peking and one in Canton, both with considerable influence over the adjoining provinces; and Marshal Feng Yu-hsiang's sphere of influence, consisting of the provinces of Shensi, Honan, Shantung, etc. is another federation, though not as the two others officially sanctioned. With the idea of completing the unification of

件 名

新聞名

China, the fifth central executive committee conference decided last year that all the political branch councils should be abolished on the day of the assembling of the Third Plenary convention of the Kuomintang, which will take place on March 15 this year. The north-eastern political council was established after this decision had been made, and it was therefore impossible for the central government to make appointments to offices of an organisation which the conference had decided to abolish within a few months. Last year the conference evidently did not realise the effect that its decision would have on Manchuria, but the Central Government, it is evident, has done so, by acknowledging the existence of the north-eastern political council as a *modus operandi*, without however being in a position to recognise it legally. When the Third Kuomintang conventions assemble it has to reach a definite decision regarding these far-reaching administrative problems, and great interest is being shown in political circles as to what these decisions will be.

"Manchuria occupies, as is well known, a special position in China, being the only part of the country which is constantly exposed to foreign aggression from two sides. A politically united Manchuria has undoubtedly a better chance to withstand aggression than four separated provincial governments remote from the Central Government would have. This fact is keenly appreciated in Manchuria and is evidently also realised by the central government in Nanking."—Reuter.

附在外支那公館、國旗掲揚手係

S

161533

168

REEL No. A-0783

0592

アジア歴史資料センター

亞細亞局

第一號甲 7

昭和八年八月廿一日接受

機密第八一號

昭和八年七月廿八日

在武市

領事 平塚晴

外務大臣 野村 田中 義一 殿

支那總領事館揭揚國旗變更ノ件

在當地支那總領事館ニテハ過敏張作霖ノ死去以來約一週日  
從來ノ五色旗ノ半旗ヲ掲ゲ居リタルガ其右七月廿七日迄ハ全然  
國旗ヲ掲セズ(從來毎日五色旗ヲ掲揚)同廿八日以來赤地  
上右尚ニ青天白日ノ小部ヲ顯シタル國民新政府旗(?)ヲ掲揚中  
ノ處、同總領事ノ言ニ依ルニ張作霖ノ死去以來從來ノ主管官廳  
所在地タル北京ヨリモ又ハ其他ノ地ヨリモ何等ノ指令訓令示等ナク

在ブラゴエスチエンスク日本領事館

(分類) 161533-2-3  
502. A 1271

本國ノ情報ニ達應シ爾來國旗無揭揚中ナリシニ廿五日ニ至リ  
所謂南京政府當局ヨリノ指令アリタルヲ以テ漸然新國旗掲揚  
ニ決シタル趣、尤モ從來張作霖ノ直接管轄下ニ在リタル黑河  
市ニ於テハ税関其他諸官衙ニテハ張氏ノ没後今日迄依然從來  
ノ五色旗ヲ掲揚中ナリ  
右何等ノ参考迄報告ス

本信寫送付先

在支公使 在露大使

在ブラゴエスチエンスク日本領事館

S 161533

170

S 161533

169